山梨学院大学
YAMANASHI GAKUIN UNIVERSITY

2025 年度　卒業生に関する就職先調査報告

2025 年 9 月
学事課 IR 担当：潘秋静
学長補佐：倉澤一孝

1.　調査目的

山梨学院大学は、本学の教育活動等について検証・評価し、今後の教育や学生支援活動の充実を図るために IR 調査を実施している。本調査では、本学の卒業生を採用した企業、および、今後本学の卒業生を採用する可能性がある企業を対象に、本学の卒業生の採用状況、卒業生が身に付けているコンピテンス（知識・技能・資質）、社会において必要と考えられるコンピテンス、本学の人材育成に対する期待などについてアンケート調査を実施した。

2.　調査期間

2025 年 8 月 18 日～2025 年 9 月 5 日

3.　調査方法

アンケート依頼は Web アンケートシステム「Microsoft forms」を利用して回答を収集した。

4.　調査対象

✓　対象：調査時点、学生センター（就職支援窓口）の企業連絡リストに登録されている 240 社
✓　有効回収率：31.3%（回答：75 社）

5.　調査項目

第 1 部　企業の基本状況
第 2 部　企業側の人材採用要件
第 3 部　本学への総合評価
第 4 部　自由記述（意見、希望等）

6.　調査結果の要約

<第 1 部　回答企業の基本状況>

- 本学と連携している企業 240 社に回答を依頼し、75 社（31.3%）から回答があった。
- 回答のあった企業の主な所在地は、山梨県、東京都、長野県、静岡県である。
- 回答が多かった業種は、卸売・小売業（20 社、27%）、製造業（14 社、19%）、建設業（7 社、9%）、宿泊業・飲食サービス業（6 社、8%）その他サービス業（4 社、5%）、情報通信（4 社、5%）となる。
- 回答があった企業の規模は、500 人未満の企業が 51 社（68%）、500～999 人の企業が 6 社、（8%）、1000～1999 人の企業が 8 社（11%）、2000～2999 人の企業が 1 社（1%）、5000～9999 人が 3 社（4%）、10000 人以上の企業が 6 社（8%）である。

<第２部　企業側の人材採用要件>

- 企業が採用する際に重視するコンピテンスを、「5.かなり重視する」と「4.重視する」を選択した割合を加算し、ランク付けすると、上位５位は以下の通りとなった。

採用する際に、企業にかなり重視される能力	比率
第１位：人柄・倫理観・責任意識	93.3%
第２位：自己を理解し、適切な目標を設定し、達成するまでやり抜く力	77.3%
第３位：環境を適応する力や自分を管理する力	69.3%
第３位：学んだ知識を用いて、社会の問題解決に活かす力	69.3%
第４位：物事を批判的吟味・検討・改善する能力	61.0%
第５位：異なる価値観を尊重し、複数の言語で周囲といし疎通・協調する力	58.7%

- 他方、「1.まったく重視しなかった」「2.あまり重視しなかった」の割合でコンピテンスをランク付けすると、企業が重視していないコンピテンスの上位５項目は以下の通りとなった。

採用する際に、企業にまったく重視されなかった能力	「1」の比率	「1＋2」の比率
第１位：海外留学経験	52.0%	77.3%
第２位：学部の種類	28.0%	77.3%
第３位：推薦や紹介を受けたこと	18.7%	37.4%
第４位：大学の評判・知名度	17.3%	57.3%
第４位：専門分野に関する知識・技術	17.3%	36.0%

- 上記の結果――企業が採用時に重視するコンピテンス、重視しなかった項目――からみると、最上位に位置する「人柄・倫理観・責任意識」は、組織における信頼形成の基盤であり、採用に際して第一に求められる条件であることが強調されている。また、自己理解や目標達成力、環境への柔軟な適応は、持続的な成長を支える主体性やレジリエンスを示す要素である。さらに、知識を社会的課題に応用する力や、物事を批判的に吟味し改善へつなげる姿勢は、問題解決型の行動特性を評価する視点を示している。加えて、多文化・多言語環境において価値観を尊重し協働できる能力も、グローバル化と多様性を重視する現代の職場において不可欠な資質であるといえる。
- 一方、「学部の種類」については「重視しない」とする割合が77.3%と高く、学歴の形式そのものよりも、こうした人間性や汎用的スキルを実践に結びつける力こそが採用の決定要因であることが示唆される。総じて、企業は誠実さと責任感を基盤に、環境への適応力や主体性を備え、知識を活用して課題を解決できる人材を求めており、形式的な属性よりも「人としての成熟」および「実践的な総合力」を重視していると解釈できる。
- 特に注意を喚起したいのは、本調査の結果が、過去３年間の調査と同様に、海外留学経験や国際的能力の育成が企業によって必ずしも高く評価されていない点である。企業の規模や国際業務の有無に

よって、国際人材に対するニーズは大きく異なる。しかし、これらの要素が本学の人材育成や教育改善において不要であると結論づけることはできない。

- 国際化が進展する現代社会において、国際的な視野をもち、異文化を理解し協働できる能力は、将来的に一層重要性を増すと考えられる。したがって、海外留学経験、国際的視野の拡大、外国語能力の涵養は、たとえ企業が現時点ではさほど重視していない場合であっても、長期的な視点から教育プログラムに組み込み、学生が国際舞台で活躍するための基盤として育成していく価値があると言える。

● 企業が大学に育成してほしいと考える能力の上位５位は以下の通りである（複数選択）。

今後大学側に育成してほしい能力	延べ回答数（N＝326）
k.人柄・倫理観・責任意識	59（18%）
g.自己を理解し、適切な目標を設定し、達成するまでやり抜く力	57（17%）
h.計画・立案・調整・組織化・行動する力や挑戦する力	49（15%）
f.環境を適応する力や自己管理する力	42（13%）
i.異なる価値観を尊重し、複数の言語で周囲と意思疎通・協調する力	26（8%）

- 企業が大学に対して「今後育成してほしい」と考える能力の上位５位は、①人柄・倫理観・責任意識（18%）、②自己を理解し、適切な目標を設定し達成するまでやり抜く力（17%）、③計画・立案・調整・組織化・行動する力や挑戦する力（15%）、④環境に適応し自己を管理する力（13%）、⑤異なる価値観を尊重し、複数の言語で周囲と意思疎通・協調する力（8%）であった。これらはいずれも、単なる知識の習得にとどまらず、人間性や主体性を基盤とした「行動特性」や「社会的スキル」を重視する傾向を示している。

● 本学と他大学の卒業生の能力を比較した際、企業による肯定的な評価は特に注目に値する。具体的には、以下の能力項目において「全体より高い」「全体よりやや高い」との評価が目立つ。

他大学の卒業生よりも優れているとされる上位５つの能力	比率
k.人柄・倫理観・責任意識	56.0%
g.自己を理解し、適切な目標を設定し、達成するまでやり抜く力	49.3%
h.計画・立案・調整・組織化・行動する力や挑戦する力	38.6%
f.環境を適応する力や自己管理する力	37.3%
i.異なる価値観を尊重し、複数の言語で周囲と意思疎通・協調する力	30.6%

- さらに、本学卒業生と他大学卒業生を比較した際にも、同じ５項目において「全体より高い」または「全体よりやや高い」との肯定的評価が際立っている。特に「人柄・倫理観・責任意識」(56.0%)、「自己理解と目標達成力」(49.3%)、「計画性・挑戦力」(38.6%)、「環境適応力・自己管理力」(37.3%)、そして「異なる価値観の尊重と多言語での協調力」(30.6%) が高く評価されている点は注目に値する。

- これらの結果は、企業が大学教育に期待する主要な能力と、本学卒業生が実際に備えていると認められている能力とが高い一致を示していることを意味する。すなわち、本学のカリキュラムやディプロマ・ポリシーに基づく人材育成プログラムは、市場のニーズに即した資質・能力の涵養に効果を発揮しており、教育の質を保証する仕組みが実際に機能していることを裏付けているといえよう。
- 加えて、この傾向は連続過去２年間の調査結果とも整合しており、本学の教育が一過性ではなく、継続的に社会の要請に応える成果を上げていることを示す証左である。今後も、これらの強みを基盤としつつ、変化する産業構造や国際環境に対応できる能力の強化を図ることが、本学の教育改善における重要な課題といえるだろう。

＜第３部　本学への総合評価＞

- 2025 年度の満足度（86%）は、前年度（2024 年度）の 84%と比べるとほぼ横ばいであるが、2022 年度（90%）、2023 年度（94%）と比較するとやや低下傾向にある。この推移は、近年の満足度が高水準を維持しつつも、緩やかな下降を示していることを意味する。今後は、企業の期待や産業構造の変化を踏まえつつ、教育内容や学生支援の一層の充実を図り、安定的に高い満足度を確保していくことが課題であると考えられる。

＜第４部　就職先の声から見た本学の強みと課題＞

以下に、企業からの自由記述を「卒業生の評価と活躍」「大学への連携・協力要望」「大学・学生への要望・課題」との 3**つの主要カテゴリ** に整理し、各コメントを **ID と原文** のまま根拠として付けた。

Ⅰ.　卒業生の評価と活躍

①　人柄・誠実さ・責任感

- *【11】「人柄や人となりを知り面接で合格を出しているので、専門的知識は入社してから学びます。社会人はいくつになっても日々勉強なので、勉強する意欲はなくさないように入社時に伝えています。今後もよろしくお願いします。」*
- *【25】「何度か訪問させて頂いていまして、段様には常に誠意あるご対応を頂いておりまして感謝しております。今後、ご縁があれば是非、御校の生徒を採用させて頂ければと存じます。今後ともよろしくお願いいたします。」*

②　2仕事への意欲・成長志向

- *【12】「測量は、全くの未経験者であった約 20 年前の卒業生 1 人を新卒採用しました。現在も中心となって活躍しています。それゆえ、技術、経験よりも、やる気のある方を募集しています。」*
- *【14】「入社後、営業職として積極的に業務の知識取得やお客様との関係関係づくりに取り組んでいただき、現在営業部主任として日々頑張ってくれています。また性別年齢関係なく後輩への指導にも取り組んでくれています。ぜひまた御校から入社して下さる方がいらっしゃれば嬉しく思います。今後ともどうぞよろしくお願いします。」*
- *【19】「いつも大変お世話になっております。当社は専門知識や資格保有などは重視しておらず、入社意思の強い方、入社後に自己成長する意思・意欲がある方を積極的に採用しています。貴学の教育理念でもあります『創造力と行動力を発揮』できる学生は当社としても求める人物像とも一致してお*

りますので、是非、当社についてお見知りおき頂けますと幸いです。今後とも宜しくお願い申し上げます。」

③　幅広い世代・長期貢献

- *【22】「50 代から 20 代の各世代で貴校の出身者が活躍してくれています。県外大学の卒業生よりも弊社に馴染む傾向があるようです。今後も積極的に採用をしたいと考えています。採用イベントなどございましたらご連絡いただけますようよろしくお願いいたします。」*

- *【8】「2016 年度に本県出身の貴校卒業生を採用し、営業スタッフとして活躍していましたが、2019 年 9 月に退職し、奥様の実家･山梨に転居されました。 山梨では当社と同系列の企業に就職し、営業スタッフとして活躍しているようです。」*

④　課外活動・スポーツ人材

- *【29】「ホッケー選手ということで体力的にも精神的にも素晴らしい人財を採用させていただきました。 古里に帰って就職希望の生徒さんの受け皿にしたいです。」*

- *【16】「いつも大変お世話になっております。貴学の皆様とは、良いご縁が続いておりますこと、改めまして誠にありがとうございます。貴学のご卒業生は多分野にてご活躍しておりますが、臨地校外実習や講義等で講師として登壇の機会を頂くことで本人たちの成長にも繋がっていると感じております。学生の皆様と、ご卒業生をはじめとした弊社社員がコミュニケーションをとれるような機会がありましたら、ぜひお声掛けくださいませ。引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。」*

⑤　イベント・インターンでの積極性

- *【18】「当社は山梨県内において明光義塾を運営しております。 貴学の学生様には、塾講師としてアルバイトでも貢献いただいており非常に助かっております。採用に至った学生様も非常に素敵な方であった為、今後ともご縁をいただけますと幸いです。」*

- *【23】「近年、御学の学生さんが多く弊社のイベントに参加してくださるようになり、大変嬉しく思っております。今後も山梨エリアでの採用に繋がるよう、学生の皆様に興味を持っていただけるよう各種イベントの参加や企画をして参る所存です。引き続きご連携をよろしくお願い致します。」*

- *【30】「これまで貴学学生の皆さまには、夏期開催の弊社インターンシップにご参加いただいております。 現場実習・座学研修にも意欲的に参加される様子があり、ぜひ一緒に働きたいと思えるような魅力溢れる学生の多い印象です。今後とも､貴学とのご縁がより深まることを強く望んでおります。」*

- *【33】「社長はじめ複数の社員が在籍しています。 興味を持っていただければ有難いと思います。」*

2.　大学への連携・協力要望

①　学内説明会・セミナー

- *【1】「学内セミナーがありましたら、是非参加させて下さい。」*

- *【2】「以前、貴校の企業説明会に参加させて頂きました。今後もそのような機会があればぜひ参加させて頂きたいです。」*

- *【3】「学内企業説明会等へお声がけいただけますと幸いです。当社は介護業界という特性上、仕事がきつい、低賃金、残業が多い等の間違ったイメージを持っている学生が多くいますが現実は進化して*

おり社会貢献度の高い継続持続性の高い業界です。業界のリアルを学生へ知ってもらうための講義や講演等も検討いただけますと助かります。」

- *【10】「個別の会社説明会開催の申し込みができると幸いです。」*
- *【13】「弊社は、東京ガスグループ企業ですが貴校の学生への会社説明会などの機会をいただきたい。」*
- *【26】「校内での合同企業説明会への参加の機会をご検討いただけますと幸いです。」*
- *【31】「学内企業説明会に参加させて頂ける機会があればお誘い頂けますと幸いです。」*

② 業界理解促進・インターン・交流拡充

- *【3】「…業界のリアルを学生へ知ってもらうための講義や講演等も検討いただけますと助かります。」*
- *【15】「YouTube を見ていて知りました。あのバン中村さんが山梨学院大学の卒業生ですね。あの人の講演会を開いたらものすごく人が集まると思います。僕も行きたいです。ただし、在学生と卒業生に限るみたいに限定しないと人が多すぎる可能性が考えられます。今世の中で求められる人材は、ちょっと変わり者じゃないでしょうか？人とは違うアイデアが浮かぶ、人とは違う行動を取る、独自性のある人間が求められていると思います。当たり前の事しかできない人材は、あまり求められない、そんな気がします。いかがでしょうか？」*
- *【16】「…学生の皆様と、ご卒業生をはじめとした弊社社員がコミュニケーションをとれるような機会がありましたら、ぜひお声掛けくださいませ。」*
- *【17】「…もし可能であれば、学校様と協力し弊社のグループ会社数社との企業研究インターンシップなどいかがでしょうか。…学生さん自身が『自身を考える』『仕事を考える』機会となるような交流ができればいいかと考えております。」*
- *【20】「社会人として何をやりたいのか、また方向性も見えていない学生がみえるようであれば、施設管理業務の魅力・将来性を知って頂ければ幸いです。」*

③ 採用活動周知・紹介

- *【5】「関東圏の学生の採用に力を入れております。2026 年度卒の採用活動も継続しておりますので、是非、貴学の学生の皆さんの応募をお待ちしています。」*
- *【7】「貴学には、採用に関して個別に相談の時間をいただくなどのご配慮をくださり感謝しております。 今後も継続して、積極的に学生の採用を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。」*
- *【22】「…今後も積極的に採用をしたいと考えています。採用イベントなどございましたらご連絡いただけますようよろしくお願いいたします。」*
- *【24】「今後ともご紹介頂きますようお願い申し上げます。」*
- *【28】「プリント配線板の製造に携わり技術職を募集しておりますが、資格や学部は問いません、弊社へのご応募をお待ちしております、是非学生様へのお力添えを頂きますようよろしくお願い致します。」*

3. 大学や学生への期待・課題

- *【17】「…ご自身が『何の仕事をしたいのか』『何が大事』なのかが（自己分析）ができていない学生さんが多いように感じます。」*
- *【11】「…社会人はいくつになっても日々勉強なので、勉強する意欲はなくさないように入社時に伝えています。」*
- *【19】「…入社意思の強い方、入社後に自己成長する意思・意欲がある方を積極的に採用しています。」*
- *【4】「特段ございません。」*
- *【27】「いつもお世話になります。 今後ともどうぞよろしくお願いいたします。」*
- *【32】「ありません。」*